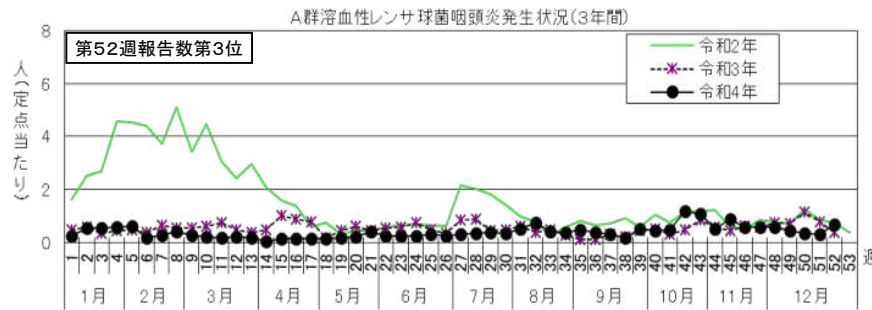
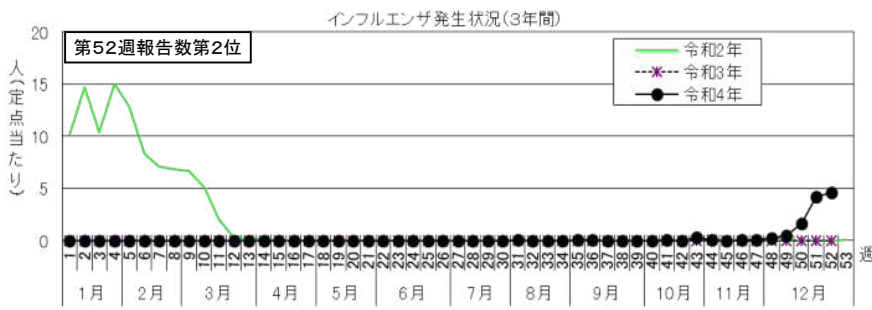
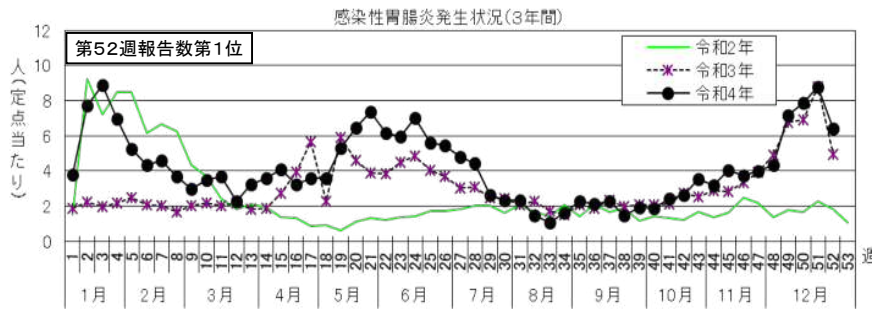


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和4年12月26日（月）～令和5年1月1日（日）〔令和4年第52週〕の感染症発生状況

第52週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) インフルエンザ 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は6.42人と前週（8.78人）から減少し、例年並みのレベルで推移しています。
 インフルエンザの定点当たり患者報告数は4.65人と前週（4.23人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は0.67人と前週（0.32人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。



海外から帰国後は体調不良に御注意を！

我が国では、令和4年10月からの水際対策の緩和に伴い、年末年始にかけて海外旅行をされる方が大幅に増加しています。一方で、海外旅行者が、帰国後に何らかの体調不良を訴えるケースは比較的多いとされており、特に発熱や発しん、下痢等の症状がよくみられます。中には思わぬ感染症が潜んでいる可能性もありますので、医療機関を受診する際は、症状に加えて旅行先、旅行期間、旅行中の行動歴等を、必ず医師に伝えましょう。

発熱

海外から帰国後、発熱することは多く、特に発展途上国から帰国した人の2～3%に発熱がみられるといわれています。
 【発熱をきたす感染症】
 デング熱、マラリア、腸チフス等



発しん

ウイルスや細菌、寄生虫等が原因で発しんが出現することがあります。疾患によっては、発熱やかゆみを伴う場合もあります。
 【発しんをきたす感染症】
 麻疹、風しん、デング熱等



止まらない下痢

海外旅行に行った人の半数以上が旅行先で下痢を起こします。通常は数日でおさまりますが、帰国後も症状が続く場合もあります。
 【下痢をきたす感染症】
 細菌性赤痢、コレラ等



医療機関受診前のチェックリスト(旅行中の行動歴等)

- 生の水を飲んだ
- 氷入りの飲み物を飲んだ
- 生の野菜や果物を食べた
- 屋台の食品を食べた
- 湖や川の中に入った(泳いだ)
- 蚊に刺された
- ダニに咬まれた
- 動物に咬まれた
- 周囲に体調の悪い人がいた
- 現地で治療を受けた



厚生労働省検疫所（FORTH）ホームページ 「病院にかかる前のチェックシート」から抜粋